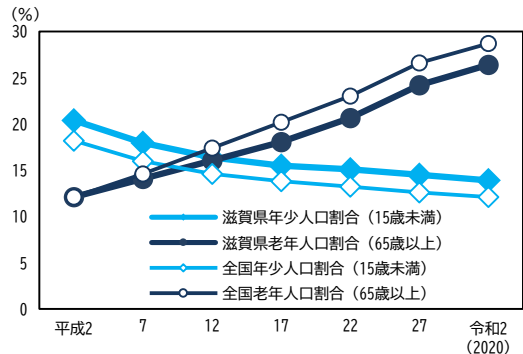


健康・福祉

■年少人口と老年人口割合の推移

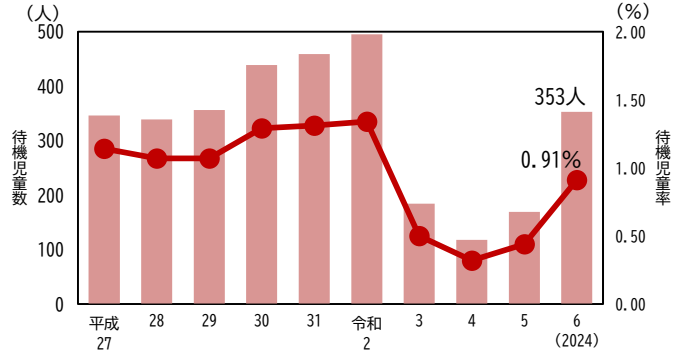
【図77】



「国勢調査」 総務省統計局（各年10月1日現在）

■保育所等待機児童数と待機児童率の推移

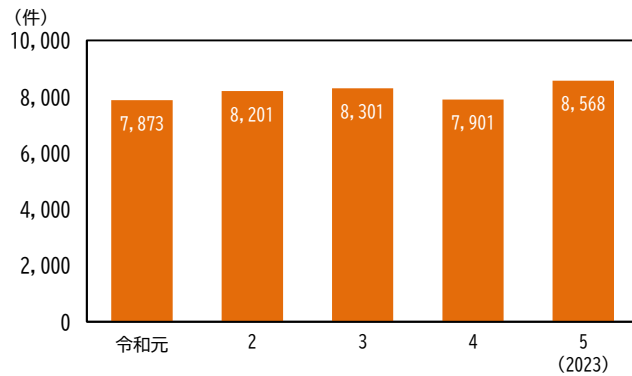
【図78】



「保育所等関連状況取りまとめ」
厚生労働省・こども家庭庁
（各年4月1日現在）

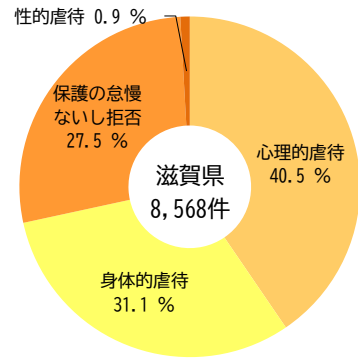
■児童虐待相談件数

【図79】 児童虐待相談件数の推移



県子ども家庭支援課（令和5年度）

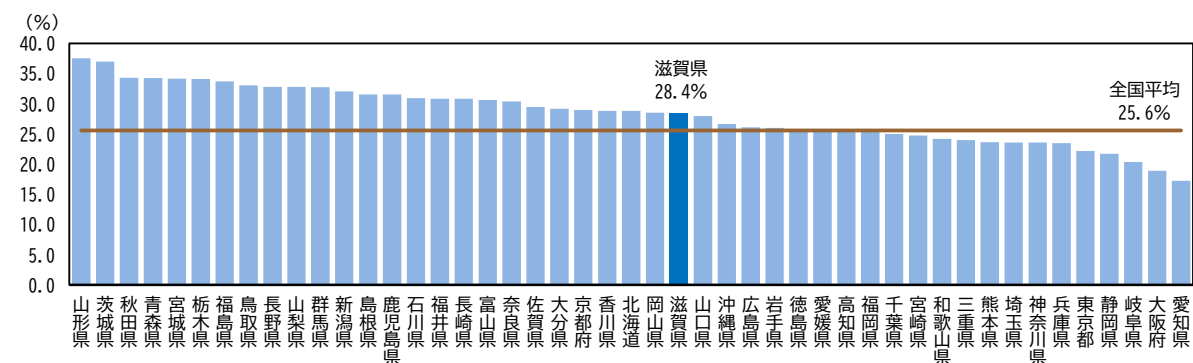
【図80】 児童虐待相談件数の虐待種別割合



県子ども家庭支援課（令和5年度）

■小学校の児童数に占める放課後児童クラブ登録児童数の割合

【図81】



放課後児童クラブ登録児童数：「令和6年放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）の実施状況」 こども家庭庁（令和6年5月1日現在）
児童数：「学校基本調査」 文部科学省（令和6年5月1日現在）

滋賀県の年少人口割合は1920年は36.0%であったが、1970年には23.1%、2020年には13.9%まで低下した。これに対し、老年人口割合は1920年は6.5%、1970年は8.9%、2020年には26.4%となった。

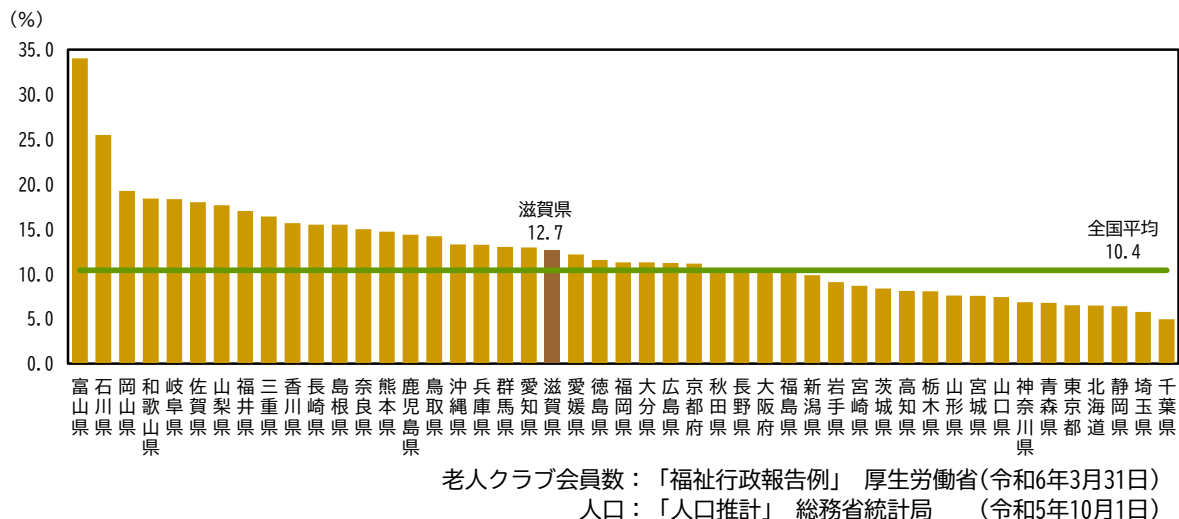
国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」によると老年人口は2045年には約450,000人、35.5%となる見込み。【図77】

令和6年の保育所等待機児童率は全国第1位。全国平均は0.09%。【図78】

児童虐待相談対応件数を年齢別にみると、小学生以下が6,193件で全体の72.2%を占める。虐待者は実母が最も多く5,268件で全体の61.5%、実父が2,826件で33.0%。【図79】 【図80】

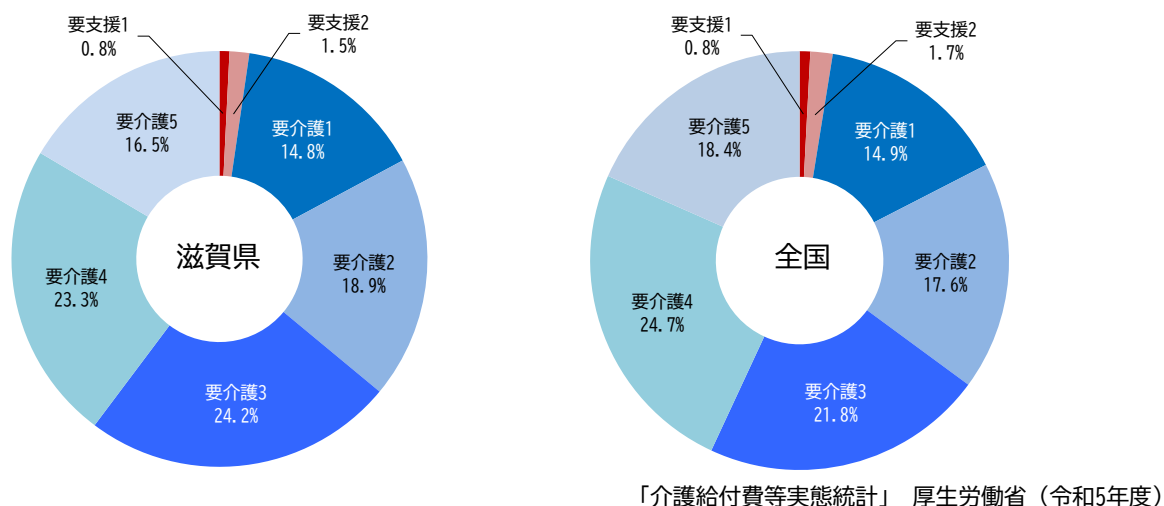
■老人クラブ

【図82】 65歳以上人口に占める老人クラブの会員割合

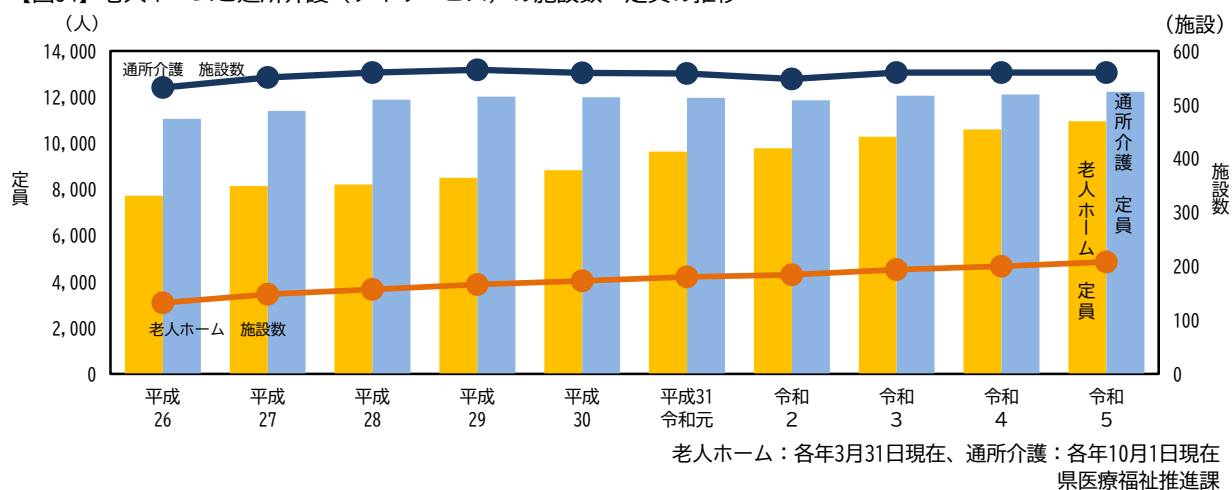


■介護

【図83】 介護保険給付額の割合〈令和5年5月～令和6年4月審査分〉



【図84】 老人ホームと通所介護（デイサービス）の施設数・定員の推移

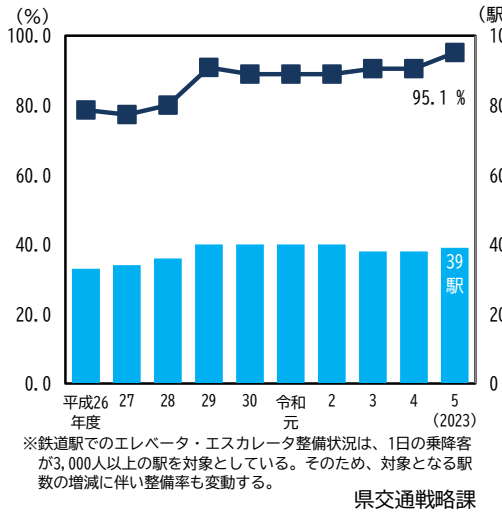


滋賀県の「要支援」「要介護」の保険給付額は、それぞれ24億34百万円、1,028億28百万円。
全国の「要支援」「要介護」の保険給付額は、それぞれ2,686億12百万円、9兆9,951億12百万円。
なお、金額には、月の途中で要支援から要介護、要介護から要支援に変更となった者を含む。【図83】

滋賀県の令和5年3月31日現在の老人ホームは208施設で、定員数は10,950人である。
また、令和5年10月1日現在の通所介護施設は560施設で、定員数は12,233人である。【図84】

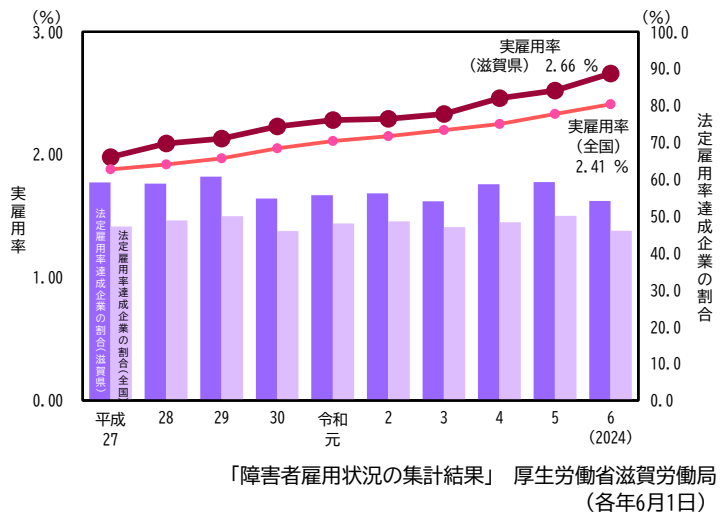
■バリアフリー化 (福祉のまちづくりの推進)

【図85】 鉄道駅でのエレベーター・エスカレーター整備状況



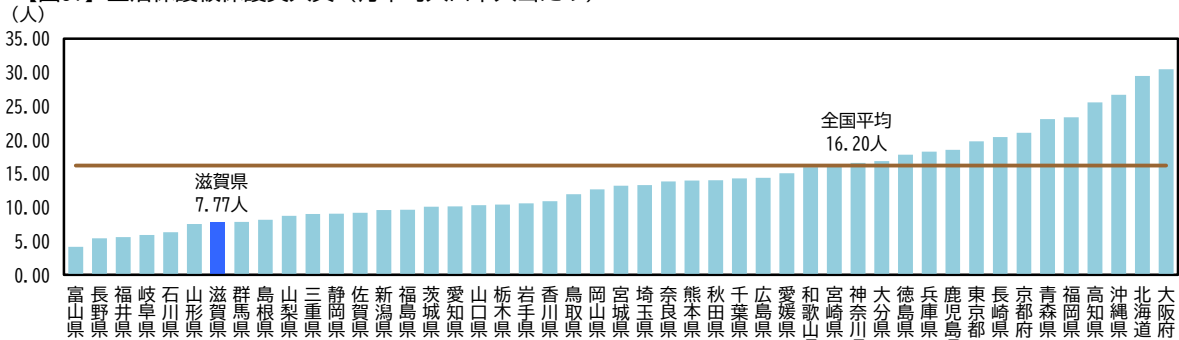
■障害者雇用

【図86】 一般の民間企業における実雇用率の推移

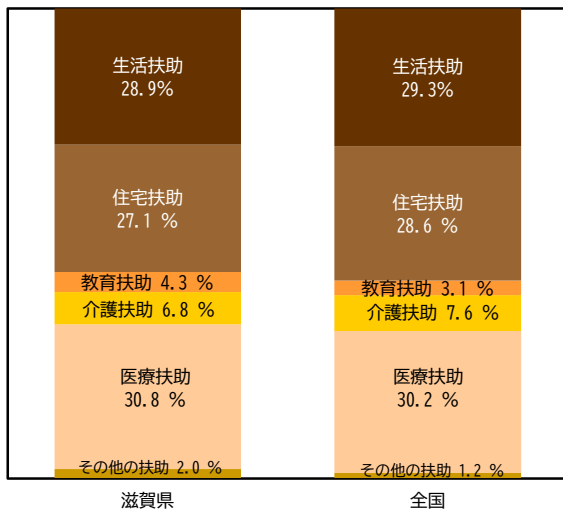


■生活保護

【図87】 生活保護被保護実人員（月平均人口千人当たり）

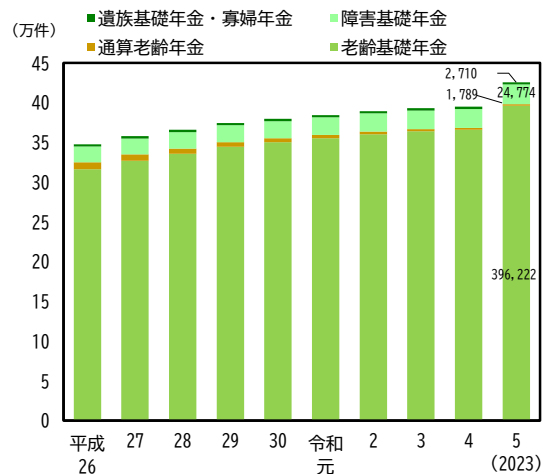


【図88】 生活保護扶助の種類別人員割合



■国民年金

【図89】 国民年金の受給件数の推移



扶助の延べ人員は滋賀県で32,245人、全国で6,020,442人。
前年と比べてそれぞれ0.4%、0.9%減少した。【図88】

令和5年度の給付金額は、
遺族年金および寡婦年金が20億7630万1千円、「障害基礎年金」が215億9671万円、
通算老齢年金が4億335万3千円、「老齢基礎年金」が2845億7146万円。【図89】

